

笛吹市国民健康保険通信

このコーナーでは、国民皆保険制度を根底で支えつづけている国民健康保険(国保)の制度や笛吹市の現状についてお知らせしていきます。医療費と健康について、一緒に考えていきましょう。

国保のお金はこのように使われています。

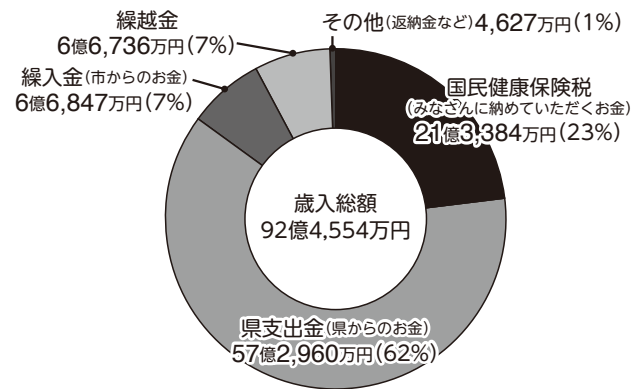
令和元年度笛吹市国民健康保険特別会計決算から

平成30年度から国保は、県と市町村による共同運営となりましたが、加入者の皆さんからの国保税と国や県からの補助金、これに市財源を加えて会計運営されていることに変わりありません。

令和元年度笛吹市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の内訳は、右のグラフのとおりです。

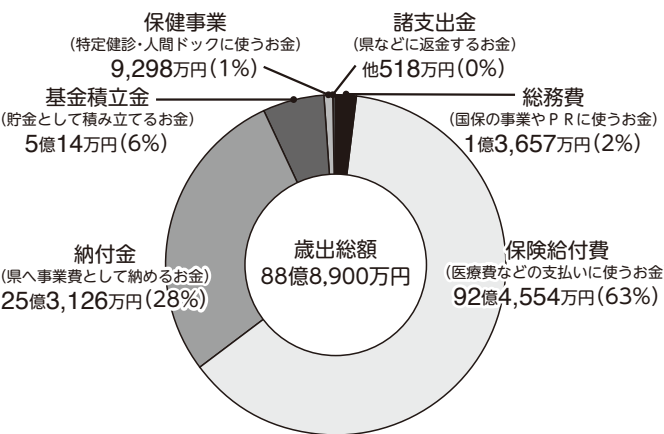
令和元年度 国民健康保険特別会計決算状況

歳入 92億4,554万円 歳出 88億8,900万円 繰越金 3億5,654万円



医療給付費の動向 (国保会計からの支払分の状況)

過去5年間の医療給付費の支払い状況を見ると、平成27年度の61億6千万円に対して、令和元年度は55億8千万円と減少しています。しかし、被保険者数の減少により、一人当たり年間の医療給付費は毎年上昇傾向にあり、令和元年度は31万4,835円と、平成27年度と比べ2万8千円以上増加しています。また、国保加入者の平均年齢は、平成27年度末の50.7歳に対し令和元年度末は52.6歳と高齢化し、医療技術の高度化とともに一人当たりの医療費を押し上げている状況にあります。



④ ジェネリック医薬品を
利用しましょう

皆さんの納める国保税は、医療費の支払いに充てられる大切な財源です。一人ひとりがきちんと納めることによって成り立っています。また、国保税負担を増やさないためには年々増え続ける医療費の削減が重要です。

もう一度ご自身の病院のかかり方を見直したり、大きな病気にかからないようにするなど積極的に予防を心がける必要があります。また、ジェネリック医薬品を積極的に使うようにしましょう。

早期発見・早期治療が医療費の削減にもつながりますので、日頃から特定健診やがん検診を受け、重症化しないように心がけましょう。

医療給付費の推移

